

コード	名称		区分	コード	名称	
事業名	455	羽根川都市下水道維持管理経費	会計	01	一般会計	
			款	08	土木費	
			項	04	都市計画費	
基本施策	22	全市的に生活排水処理施設を整備する	目	04	都市下水道費	
			細目	381	都市下水道維持管理経費	
行革大綱の重点事項番号			細々目	02	羽根川都市下水道維持管理経費	
担当部課	コード	190200	担当者氏名	堀 直哉	連絡先	43 - 2319 (内線)
	名称	産業建設部下水道課				

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	ゆめが丘地内及びその周辺地域の住民	※対象件数
成果(どうする)	羽根川都市下水道を適切に管理することにより、大雨による浸水被害が軽減される。また、雨水調整池で洪水調節して放流するため周辺地域の被災を防止できることから、安心して快適な暮らしをすることができる。	
根拠法令・要綱等	伊賀市上野下水道管理規則	
開始年度	平成 7 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	雨水調整池の草刈業務	
社会情勢の変化等	羽根川都市下水道は、平成7年度から供用開始を行い、道路等の浸水もなく適切に維持管理を行っている。浸水防除施設であるこの施設は市民が安心して快適に暮らすには欠かせない施設であり、継続して維持管理をしていく必要がある。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
マンホール蓋段差解消修繕	目標	式	1	1	1	1
	実績		0	0		
雨水調整池草刈業務	目標	回	1	1	1	1
	実績		1	1		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
道路等浸水件数		降雨による浸水被害等が少ないほど、市民が安心して快適な暮らしをすることができる。	件	目標	0	0	0
				実績	0	0	0
				目標			
				実績			

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	
直接事業費計(A)	198	198			450	450		
Aの財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	0	0					
一般財源	198	198	450	450				
事業投入人件費(B)	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	
フルコスト(A)+(B)	918	918	1,170	1,170				

事務事業の評価 (Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	○	
大雨による浸水被害が軽減される。また、雨水調整池での洪水調節により周辺地域の被災を防止できる。		
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	大雨による浸水被害が軽減され、市民が安心して快適な暮らしをすることができます。このことから、維持管理経費の確保は不可欠であります。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 予算の範囲内で本施設の維持管理に努め、適正かつ効率的に事業を遂行した。マンホール蓋修繕の対象となる物件がなかった。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	尾登 誠
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 浸水被害がない安心した生活を送るために必要な事業であり、安心して快適な暮らしを保持するための適切な維持管理を行う必要がある。
現時点における課題、その他	施設の適切な維持管理を継続的に行う必要がある。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	施設の適切な点検・維持管理を励行することにより、修繕費等の軽減を図る。